

# 工業用水の確保と 日本工業用水協会の役割

---

廉価で豊富によい水の確保——これが日本工業用水協会の与えられた至上命令である。この目的を達成するための事業としては

## (1) 工業用地下水の調査

地方自治体からの委託に基づいて地質調査所や日本地下水学会などの機関に再委託して行なう仕組みで、多くの関係者が真剣に取り組んでいる。利用の競争が激化するに伴って、いままで私有権に属していた地下水も次第に公共の資源としての性格を帯びてきているので、圧倒的に多い地下水利用者の十分なお協力を願いたい。

## (2) 工業用水道整備10カ年計画の推進

この目的達成のためには、国の大幅な助成措置が必要となってくるので、そのため大会の開催、陳情運動や啓蒙宣伝等関係会員一同、昼夜を分たぬ奮闘を続けているが、幸い37年度まではかなりの成果を上げたものと確信している。

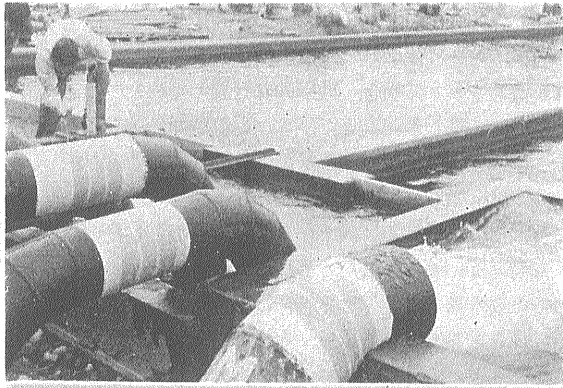
しかし、今後の見通しは決して安易なものではなく、それには何よりも先ず会員ならびに関係者の大同団結がのぞまれる。

## (3) 用水使用の合理化調査・研究

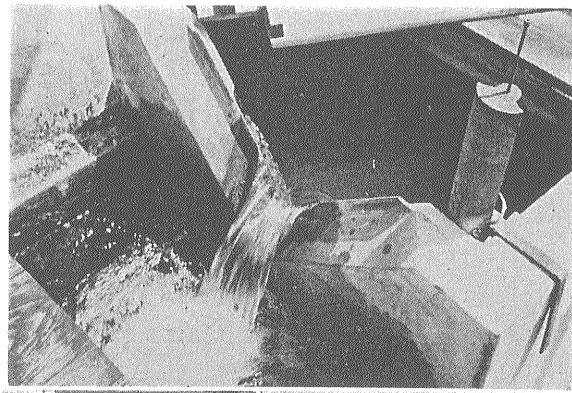
用水確保のためには当然なさねばならない事業で、本年は硫安・鉄鋼部門と取りあげているが、来年度は石油化学・紙パルプ部門を取り上げることになっている。実務者必携のハンドブックを作成するため、これまた関係者がおおわらわになって、各部門の用水状況を追求している。

このように用水確保のためには、多くの知識や資金や労力がつき込まれてはじめて達成されるわけである。いまこそ、水は天から授かるものなどという素朴な考え方をすて、廉価で豊富でよい水を確保するため、みんなが立ち上らなければならないときである。

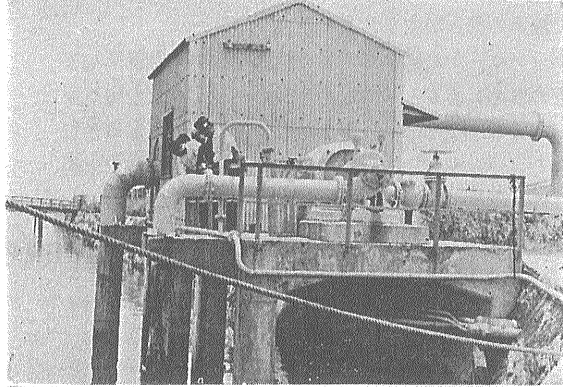
---



構内貯水池

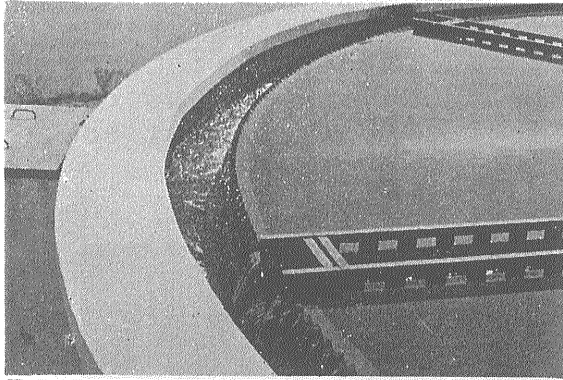
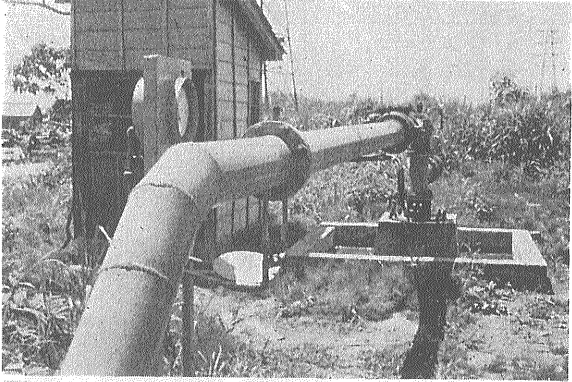


三角堰



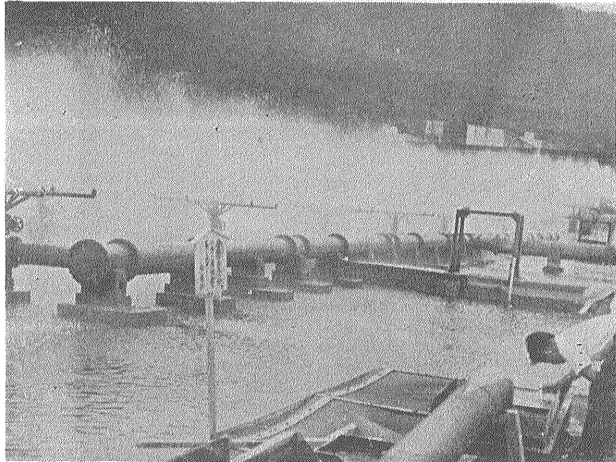
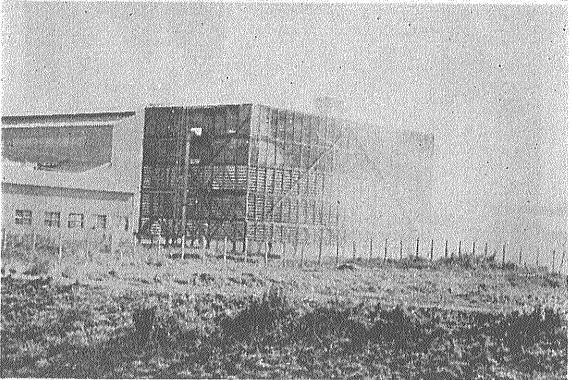
河水取水ポンプ所

水位・水圧が自記されるようにできた水中モーターポンプ

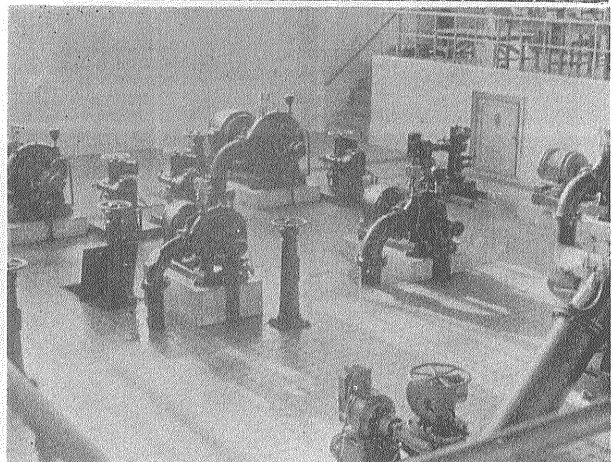


急速沈でんろ過装置

自然通風式冷却塔 600m<sup>3</sup>/H の能力



セメント工場の自家発電用冷却水の冷却池



送水ポンプ場